

苫小牧市立清水小学校学校便り

『未来を創造する
清水の子の育成』

清水の子



◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

HP <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/shimizu/>
第 1 2 号 令和 8 年 1 月 2 3 日 発行



新しい年のスタートにあたって

校長 渡邊 真末

令和 8 年の始まりとともに、学校にも子どもたちの明るい声に戻ってきました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1 月 1 4 日の始業式では、「今学期がんばりたいこと」を子どもたちに聞きました。学習に意欲的に取り組みたいという思い、自分自身をさらに成長させたいという決意など、前向きな目標を語ってくれました。その真剣な表情から、新しい年への意欲と期待を感じることができました。

その後、校内を回ってみると、教室には「今学期の目標」が掲示されていました。言葉や力強い文字に表された目標の一つ一つに、子どもたちの思いや決意が込められており、思わず足を止めて見入ってしまいます。

また、新年早々、日頃から子どもたちの登下校を温かく見守ってくださっている地域の皆様とお話しする機会がありました。何気ない会話の中で、「子どもたちの元気な姿が楽しみ」「朝、挨拶して話しかけてくれると嬉しい」「無事に登校してくれると安心する」といった思いをお聞きすることができました。この地域の温かさを改めて実感しました。

子どもたちは、学校だけでなく、地域の皆様に支えられて育っているのだと感じたひとときでした。

今年は午年です。馬が力強く大地を蹴り、前へ進んでいくように、子どもたちも自分の目標に向かって一步一步進んでいってほしいと願っています。その歩みが実を結ぶよう、学校としてしっかりと支え、励ましていきます。

本年も、保護者・地域・学校が力を合わせ、子どもたちを健やかに育てていける一年にしてまいりたいと思います。引き続き、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2月行事予定

1日(日)	
2日(月)	1, 2年 午前授業(～3月末)
3日(火)	3, 4年 5時間授業(～3/6) 新入学説明会・体験入学
4日(水)	フッ化物洗口
5日(木)	
6日(金)	スケート学習(ハイランド) SC 来校
7日(土)	
8日(日)	
9日(月)	児童委員会(反省) 通級面談(～21日) 6年中学校体験入学
10日(火)	
11日(水)	建国記念の日
12日(木)	
13日(金)	
14日(土)	市 P 連子育て研修会
15日(日)	
16日(月)	
17日(火)	学校運営協議会
18日(水)	フッ化物洗口、なわとび検定(高)
19日(木)	なわとび検定(低)
20日(金)	5年福祉の学習
21日(土)	
22日(日)	
23日(月)	天皇誕生日
24日(火)	
25日(水)	フッ化物洗口、評価業務日
26日(木)	参観日(高)5, 6年 5時間授業
27日(金)	参観日(低・こ)1, 2年 5時間授業
28日(土)	

過日(12月23日)お知らせいたしました
が、今年度も学習指導要領に定められた各学
年の標準授業時数を満たし、指導内容を適切
に実施できる見込みが立ったことから、2月
以降、日課を次の通り変更することといたしま
す。

- 1, 2年…全日午前授業
- 3, 4年…全日5時間授業
- 5, 6年…3月から5時間授業

なお、3～5年生は3/9以降午前授業とな
ります。

新年度に向けて

3学期は、1年間のまとめの時期であるとともに、4月から
の新しい生活に向けた準備の時期であるともいえます。

2月3日には、4月から本校に入学してくる新1年生の体
験入学が行われます。令和7年度の新1年生は、1月14日
現在で30名となっております。

また、2月9日には、開成中学校の体験入学に本校6年生
が参加し、授業体験や学校生活等の説明を受けることになっ
ています。

【お願い】

転勤等で、3月末に転出することが決まった方は、早く担任
を通じて、できるだけ早く学校までお知らせください。本校及
び転出先の次年度の教員配置等に影響する場合がありますため、
ご協力をお願いします。

参観日について

今年度最後の参観日を次の日程で行います。時節柄ご多用
のこととは存じますが、ぜひご来校いただき、子どもたちの姿
をご覧ください。また、授業後には学級懇談会も行われます。
こちらにもご参加いただきますようお願い申し上げます。

2月26日(木) 高学年 13:00～13:45

2月27日(金) 低学年・こぶし 13:20～14:05

※授業等につきましては、後日配付される学年だよりでご確
認ください。

ヤングケアラー出前講座

1月19日、6年生を対象にヤ
ングケアラー出前講座を行いました。
北海道ヤングケアラー相談サポ
ーターの加藤センター長をお迎
えし、ヤングケアラーについて
の理解を深めるための出前講
座を行いました。



加藤センター長は、「家族の世話やお手伝いをする事は悪い
ことではない。一番よくないことは、一人で悩むことであり、誰
かに相談したり、誰かの話を聞いてあげたりすることが大切だ」
と話しておられました。

本市では、令和6年より道内に先駆けて苫小牧市ヤングケ
アラー支援条例を制定し、ヤングケアラーとなっている子ども
やその家族を見守り孤立させない社会の実現を目指しています。
ヤングケアラーについての相談窓口は学校のほか、次の通りで
す。

- ・苫小牧市こども相談課(32-6369)
- ・とまこまい子ども若者なんでも相談案内「KOWAKA」(32-6759)
- ・北海道ヤングケアラー相談サポートセンター(0120-516-086)

詳しくは、苫小牧市ホームページをご覧ください
(右のQRコードを読み取るとアクセスできます)

